

ツマグロキチョウ

Eurema laeta betheseba (Janson)

チョウ目
LEPIDOPTERA
シロチョウ科
Pieridae

カテゴリー

大分県 準
環境庁

選定理由 普遍的な種であったが、最近10数年、急激に個体数が減少し、全国的に絶滅が危惧されている。県内でも安定した生息地は少なくなり、生息環境の悪化が懸念される。

県内分布 ほぼ県内全域

分布域 本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島) 南西諸島 朝鮮半島 中国 台湾

生息環境 河川敷、堤防の草地や荒地。カワラケツメイが食草。

現 状 河川改修工事、草地の開発などにより、発生数が減少している所がある。

スジボソヤマキチョウ

Gonepteryx aspasia nipponica
Bollow

チョウ目
LEPIDOPTERA
シロチョウ科
Pieridae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 本州ではかなり広く分布する。九州では分布が局限され、個体数も極めて少ない。県内では九重山群と祖母山の限られた高地に分布し、生息環境の変化で絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 九重町、久住町、竹田市

分布域 本州 四国 九州(熊本?・大分・宮崎)

生息環境 山地の溪流沿いや樹林の林縁。クロウメモドキ科を食草とする。

現 状 祖母山、九重山群で1950年代に採集され、その後記録は途絶えたが、1986年に祖母山で採集されている。

ヒメシロチョウ

Leptidea amurensis (Menetries)

チョウ目
LEPIDOPTERA
シロチョウ科
Pieridae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁

選定理由 高原草地の観光開発、草地改良などによって、本来の火山性一次草原が失われたため、生息地が著しく狭められ、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 天瀬町、玖珠町、九重町、久住町、直入町、湯布院町、竹田市

分布域 北海道 本州 九州(熊本・大分)
アムール 朝鮮半島 中国

生息環境 九州では阿蘇・九重の火山性一次草原。ツルフジバカマが食草。

現 状 久住高原・飯田高原では食草の生育する草地が非常に少なくなり、個体数は1980年以降、急激に減少している。